

ひがし

通算第 122 号
2026.7.15 No.38

九重町人権意識調査

2024年10月に実施された人権意識調査の結果が今年の1月に発表されました。部落差別に関するアンケート結果の一部を紹介します。なお、このアンケートは町民1000人を対象に398人の回答を得た結果です。

Qあなたは、被差別部落の人に対して差別意識を持った人があると思いますか。

持っている人はいなくなつた。

7.5%
4

なかには持っている人がある

28.9%

持っている人はまだ多い

5.3%

わからない

3.6%

無回答

0.1%

九重町では今なお差別意識を持っている人がいることが読み取れます。直接的に差別発言や差別事象がなくても、差別意識を持って当事者に接したり、第三者と意見を交換したりすることで傷つく方もいるのではないかと考えられます。まずは差別意識事態が間違っていることを知ってもらうことから啓発をしていかなければなりません。(九重町の分析)

Qあなたのお子さんが被差別地区の人と結婚するとしたらあなたはどうしますか

できれば被差別地区の人でないほうがいいが反対はしない

91.1%

1.9%

反対するが本人の意志が強ければやむをえない

7.8%

絶対反対

5.1%

わからない

1.3%

無回答

0.8%

20歳代は「反対などしない」が100%です。学校教育や啓発活動の成果が表れています。しかし70歳代になると「絶対に反対する」が9.2%あり、高齢者への啓発が必要です。(九重町の分析)

『2024(令和6)年度九重町人権意識調査』結果について』というホームページを見ると詳しくわかりますので、